



phonics 1

AGO フォニックス

フォニックスカード 36枚 (A-Z, soft c, soft g, ch, ph, sh, th, wh, ck, ng, nk)
アクションカード 17枚 (4 x jump, 4 x change direction, 4 x pick up, 5 x change color)

簡単な遊び方:

最初はAからZまでのフォニックスカード26枚だけを使って遊んでみましょう。
この場合、残り10枚のフォニックスカード(番号が7、8、9のカード)とpick up fourカードは除けておきます。

Game 1: *Last Card* (2~5人)

- ディーラーはプレイヤーに7枚ずつカードを配ります。残ったカードは取り札となり、伏せて中央に置きます。
- ディーラーは取り札から一番上のカードを1枚めくり、取り札の横に表向きに置きます。ディーラーの左側にいる人からゲームを始めます。
- プレイヤーは手札の中から、ディーラーのめくったカードと同じ色・数字・種類またはChange colorカードのいずれかを使ってプレイします。手札に適切なカードがない場合は取り札からカードを1枚引きます。
- カードを出す際、書かれている単語を声に出して読み上げます。
- もし手札に同じ種類または数字のカードが複数ある場合(例えば8のカード2枚など)それらのカードを重ねて同時に出すことができます。複数同時に出す場合も、カードに書かれている単語すべて読み上げましょう。
- アクションカードが出されたら、書かれている指示に従ってください。例) Pick up two cardsとあれば、次のプレイヤーは取り札から2枚カードを引かなければなりません。
- 早く手札がなくなった人が勝ちとなるゲームです。
- 手札が最後の1枚(または残り複数枚が全て同じ種類あるいは数字)になったら、"Last card(s)"と言わなければなりません。言い忘れた場合は、取り札からカードを1枚引きます。

Game 2: *Rock Scissors Paper* (2~10人)

- 全てのカードを伏せてテーブルに広げてよく混ぜます。
- ペア(3人1組でも可)になり、グループ毎にジャンケンをして勝ったチームからテーブルのカードを1枚選び、読み上げたらそのカードをもらいます。
- テーブルのカードすべて引かれるまで同様に続けます。
- アクションカードを引いた場合、そのカードをもらってもう1枚カードを引きます。
- Pick up cards**はその表示数分のポイント価値があります。例) **Pick up three** とあれば3ポイントとなります。
- その他のカードはすべて1ポイントです。
- 獲得したカードの合計ポイントが一番高得点だったチームが勝ちです。

Game 3: *Spelling Game* (2~5人)

- 先生は生徒にカードを10秒ほど見せます。カードを伏せて中に書いてあった単語のスペルを生徒に質問します。
- わかった人は手をあげて答えます。正しかったらそのカードをもらいます。
- カードの番号がポイント数になります。
- 獲得したカードの合計ポイントが高得点だった人が勝ちです。